

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成 19 年 8 月 30 日 (2007.8.30)

【公開番号】特開 2006-48791 (P2006-48791A)

【公開日】平成 18 年 2 月 16 日 (2006.2.16)

【年通号数】公開・登録公報 2006-007

【出願番号】特願 2004-225613 (P2004-225613)

【国際特許分類】

G 1 1 B 5/738 (2006.01)

G 1 1 B 5/70 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 5/738

G 1 1 B 5/70

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 12 日 (2007.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

非磁性支持体の少なくとも一主面上に、少なくとも無機粒子と結合剤とを含有する下層非磁性層と、少なくとも磁性粉末と結合剤とを含有する、膜厚 100 nm 以下の磁性層とが重層形成された磁気記録媒体であって、

前記磁性層の膜厚を d (nm) とし、前記下層非磁性層に含有されている前記無機粒子の長軸を a (nm) としたとき、下記式 (1) の関係を有することを特徴とする磁気記録媒体。

$$a \leq 3.0 \times d - 60 \cdots (1)$$

【請求項 2】

前記下層非磁性層に含有される無機粒子が、酸化鉄及び / 又は酸化チタンであることを特徴とする請求項 1 に記載の磁気記録媒体。

【請求項 3】

前記非磁性支持体が、ポリエチレンテレフタレートであることを特徴とする請求項 1 に記載の磁気記録媒体。

【請求項 4】

前記非磁性支持体上に前記下層非磁性層及び前記磁性層が順次形成された後に、磁場配向処理及び乾燥処理が順次施され、その後、カレンダー処理が施されたものであることを特徴とする請求項 1 に記載の磁気記録媒体。